

「地域観光資源の多言語解説整備支援事業」では、事業に関わったライター、エディター、スタイルチェッカー、内容監修者らの人材を総称し、専門人材と呼びます。これから多言語解説文を作成する地域の参考となるよう、専門人材リストとして取りまとめました。
注)本リストに掲載されている全ての情報は、利用目的や範囲を事前に事業者及び内容監修者に通知し、同意を得た上で公開しております。

■スタイルチェッカーが所属している事業者

	事業者名	所在地	連絡先	会社概要	事業内容	実績
	有限会社人文社会科学翻訳センター Center for Intercultural Communication	東京都狛江市岩北1-1-1-609	03-3430-1780	(株)社会科学翻訳センター（代表 鹿野力）において和英翻訳・英文校閲を受け持つかわら英文雑誌The Japan Interpreterの編集部で翻訳・校閲を担当してきた武智学（たけち・まなぶ）とリン・リッグス(Lynne E. Riggs) によって1990年に設立。リン・リッグスは1997年4月より2009年3月まで、学術雑誌Monumenta Nipponica（上智大学）のマネジング・エディターも兼務。	■和文から英文への翻訳 ・学術論文・書籍・時事問題（英字新聞・雑誌） ・文化交流（作家・実業家・政治家・建築家等の著作） ・エッセイ・スピーチ、展覧会パンフレット、その他 ■英文校閲、リライト、校正その他 ・出版および会議のための英文の校閲、リライト、校正 ・出版のための制作アドバイス	The Vessels of Kaiseki (Summer 2022 exhibition catalogue), Miho Museum <i>Nikken Journal</i> , Nos. 50-53 (Flick Studio/Nikken Sekkei), 2022 2019-2022: 観光庁分かりやすい多言語解説整備事業/7人の専門スタイルチェッカーチーム運営 人間文化研究機構、国際日本文化研究センター、日本考古学協会、大槻能楽堂、コスモ・ピーアール、岐阜現代美術館、などの配信記事、エッセイ、論文、など。